

エコアクション 21 環境経営レポート

2021 年度試行運用版
(2021 年 11 月～2022 年 1 月)



2022 年 3 月 1 日発行



別府建設 株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
2. エコアクション 21 導入の背景と目的	2
3. 認証・登録の対象範囲	2
4. 環境経営方針	3
5. 環境経営目標	4
6. 環境経営計画	5
7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	6
8. 環境経営目標の実績	8
9. 環境経営計画の取組結果とその評価	9
10. 今後（2021 年度残期間）計画	10
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	11
12. 代表者の全体評価と見直しの結果	12

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

別府建設 株式会社

代表取締役 別府 茂喜

2) 所在地

本社・倉庫 〒813-0032 福岡県福岡市東区土井 1 丁目 18-12

3) 環境管理責任者氏名及び担当連絡先

環境管理責任者 湊田 若菜

連絡担当者 別府 茂喜

TEL 092-691-1406 FAX 092-691-1407

E-mail sigeki@beppukensetsu.jp

4) 事業活動の内容

建築工事業、大工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、
鋼構造物工事業、内装仕上工事業

建設業：福岡県知事許可（特-3）第 29023 号

一級建築士事務所：県知事登録 第 1-11637 号

URL <https://www.beppubld.com/>

5) 事業の規模

会社設立 1968 年 5 月 1 日

資本金 2,500 万円

活動規模	単位	2018 年度	2019 年度	2020 年度
売上高	千円	432,261	314,182	322,278
従業員	人	10	10	7
事務所床面積	m ²	61	61	61
倉庫床面積	m ²	310	310	310

6) 事業年度

4 月～翌年 3 月（エコアクション 21 の事業年度は 7 月～翌年 6 月とした）

2. エコアクション21 導入の背景と目的

建設業は、社会基盤を担う産業であり、計画・設計から施工、解体といった建築物・工作物全体で環境問題と大きく関わっています。特に、全産業から排出され、最終処分される廃棄物の約5分の1が、建設工事に伴うものだとされています。そのため、建設業者のより積極的な環境への取り組みは今や必須となっています。

現代社会では、地球環境問題をはじめ、少子化・高齢化、教育・文化、防災などの問題を抱え、企業も個人も社会貢献をすることが求められている時代にあると考えています。それに伴い主体的、自律的に取り組んでいくことが求められています。

現在、弊社では取組の一環として株式会社フォーバルの掲げるグリーンコンソーシアムに参画し、CO₂削減に取り組んでいます。まずは紙の削減からスタートし、GXに対しても取組を始めております。

また、地球の未来のために、持続可能な社会に向けて低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を構築することが必要であり、当社は積極的に環境への取組を行うことが不可欠と考えています。

当社は、ここ数年は売上が下がっていましたが、前年度は少し回復傾向にあるため、環境への取組を切り口にさらに経営力向上を図りたいと考えております。エコアクション21の取り組む仕組みによりPDCAサイクルを定着させ、業務をより効率的、効果的に行っていきたいと考えます。

環境活動などの社会的貢献活動を行うことで社会的認知度が上がる為、第三者認証を通して、社会的信頼を高めたいと考えています。

3. 認証・登録の対象範囲

(1) 対象事業所

本社・倉庫

(2) 対象事業活動

建築工事業、大工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、内装仕上工事業

4. 環境経営方針

環境理念

当社は、かけがえのない地球環境を守るため、省資源・省エネルギーに努め、自然・社会・人と調和した事業活動を展開します。

当社は建設の事業活動を通じて、環境マネジメントシステムを構築し、環境経営目標を定め、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的改善に努めます。

行動指針

1. 当社に適用される環境関連法規制や当社が同意するその他の環境関連要求事項を遵守します。
2. 当社の事業活動において、次の事項について、具体的な環境経営目標及び環境経営計画を定め、実施します。
 - ① 紙類使用量の削減、二酸化炭素排出量の削減
 - ② 3S（整理・整頓・清掃）活動の実施
 - ③ 木材に関する不良在庫の削減
 - ④ 排気ガス・騒音の抑制のエコドライブ及び車輛の整備
 - ⑤ 節水の徹底による水使用量の削減
 - ⑥ 地域貢献活動の推進
3. 当社の毎年の環境への取組状況を環境経営レポートにとりまとめ、全社員に周知し、一般にも公表します。

制定日：2021年10月26日

別府建設 株式会社
代表取締役 別府茂喜

5. 環境経営目標

- ・環境経営方針を踏まえ、当社の事業活動における具体的な環境経営目標をサイト区分(事務所、現場、全社)して、以下の4項目10目標を設定しました。
- ・なお、化学物質は自社での購入実績がないため目標から除外しました。
- ・主要な環境負荷である二酸化炭素排出量、建設発生木材排出量、水使用量については、基準年(2020年度実績値)に対して、毎年1%ずつ削減し、2023年度までに3%削減を目指しました。また、紙使用量については削減の取組を加速するため、毎年5%で2023年度までに15%削減を目指しました。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2020年度 実績値	単年度目標		中期目標	
				2021年度 (1%削減)		2022年度 (2%削減)	2023年度 (3%削減)
				試行運用期間	残余期間		
				2020.7~ 2021.6	2021.11~ 2022.1	2022.2~ 2023.6	2022.7~ 2023.6
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg - CO ₂	25,847	6,397	10,661	25,330	25,072
(1) 電気使用量の削減	事務所	kWh	14,858	3,677	6,129	14,561	14,412
(2) ガソリン使用量の削減	事務所	ℓ	6,470	1,601	2,669	6,341	6,276
(3) 軽油使用量の削減	現場	ℓ	1,436	355	592	1,407	1,393
2. 廃棄物排出量の削減							
(1) 紙の削減(コピー紙)	事務所	枚	27,044	(5%削減) 6,693	(5%削減) 11,156	(10%削減) 24,340	(15%削減) 22,987
(2) 建設発生木材の削減	現場	kg	109	27	45	107	106
3. 水使用量の削減	事務所	m ³	167	41	69	164	162
4. 地域社会貢献活動の推進 (近隣清掃の実施)	事務所	回	0	3	5	12	12

備考)・二酸化炭素排出量の算定は、2020年度九州電力㈱の調整後排出係数0.480kg-CO₂/kWhを使用した。

- ・2021年度試行運用期間、残余期間は基準年同期間の実績値から目標値を設定した。
- ・()の削減率は基準年に対するものである。
- ・化学物質は自社での購入実績がないため、目標から除外した。
- ・サイト区分は事務所(倉庫を含む)、現場、全社(事務所+現場)を示す。

6. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（活動項目）を設定して、全社員で取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1) 電気使用量の1%削減	全社	淵田	不使用時のパソコン等の電源をOFFにする	大久保	通年
			昼休み等 unnecessary な箇所の消灯を徹底する	大久保	通年
			無人スペースの消灯	大久保	通年
			室温管理に努める	大久保	通年
(2) 自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の1%削減	全社	福崎	急加速・急停車の防止	城下	通年
			アイドリングストップ	城下	通年
			効率的なルートでの移動	福崎	通年
			定期車輛整備実施による燃費の向上	福崎	通年
			新車（トラック）の購入予定	福崎	通年

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1) 紙の5%削減（コピー紙）	事務所	淵田	両面コピーと縮小コピーに努める	大久保	通年
			DX化を目指し、ペーパーレス化に努める	大久保	通年
			PCFAXの活用に努める	大久保	通年
			ミスプリント防止に努める	大久保	通年
(2) 建設発生木材の1%削減	現場	城下	木材在庫の管理	福崎	通年
			発生木材の再利用に努める	城下	通年

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1) 水使用量の1%削減	事務所	別府葉子	手洗い時に水を出し放しにしない	大久保	通年
			節水促進掲示物の設置	大久保	通年

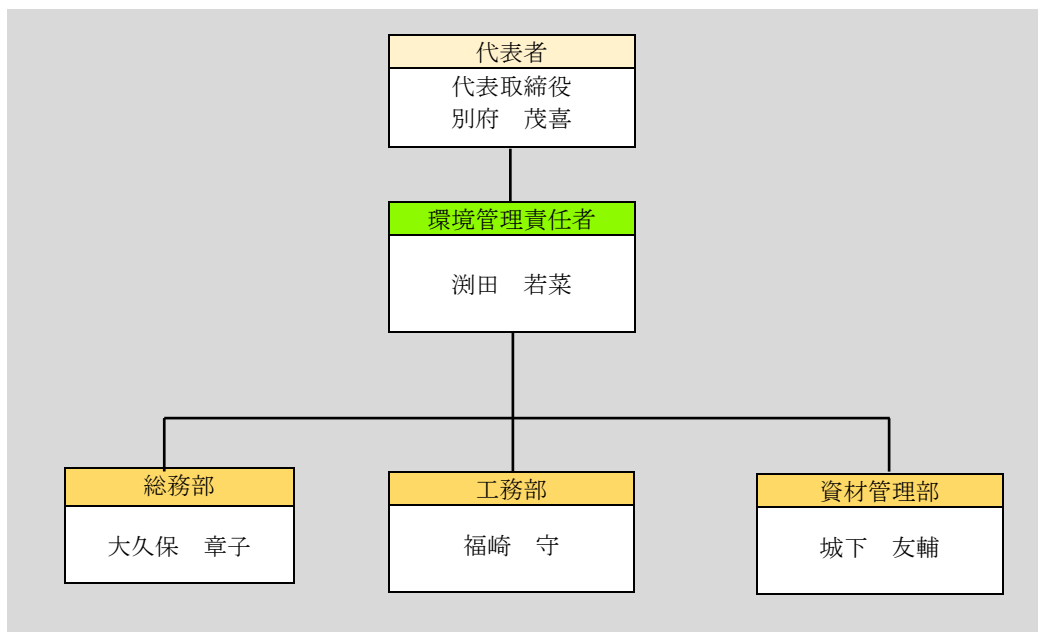
4. 地域社会貢献活動の推進

取組目標	サイト区分	責任者	具体的な取組（活動項目）	担当者	スケジュール
(1) 地域社会貢献活動の推進 （近隣清掃月1回実施）	事務所	別府茂喜	会社周辺清掃を月に1回行う	淵田	通年

7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

- ・2021年度試行運用期間に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- ・実施に当たっては、社内に次のような実施体制を構築して、全社員が一丸となって取り組みました。

(1) エコアクション21実施体制



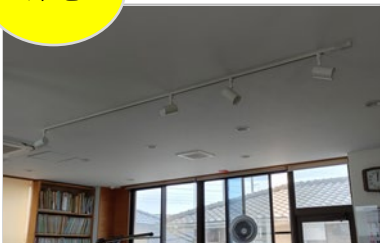
役割・責任・権限

所属	担当者	役割・責任・権限
代表者	別府 茂喜	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	澁田 若菜	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境目標、環境活動計画書の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
部門長	大久保 章子 福崎 守 城下 友輔	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	—	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(2) 環境経営計画に基づき実施した取組

環境負荷を削減する取組

節電



昼休みの消灯

燃費向上



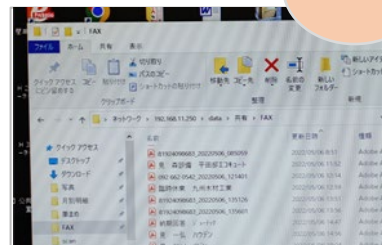
新車（トラック）の導入

CO₂削減



裏紙使用

ペーパーレス



ペーパーレス化の取組使用

ごみ減量

リユース



発生木材の再利用

産業廃棄物
適正処理



マニフェスト発行綴

水の減量



節水活動

社会貢献



会社周辺の清掃活動

8. 環境経営目標の実績

- ・2021 年度試行運用期間の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した環境経営目標 4 項目 8 目標のうち、3 項目 6 目標で達成出来ました。
- ・目標未達となった 1 項目 2 目標の達成率をみると、ガソリン使用量が 92%、紙の削減(コピー用紙)が 99%であり、今後の取組次第では十分に目標達成可能レベルにあるため、今後の取組の周知・徹底を図り、全社一丸となり目標達成に向けて取組んで参ります。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2020 年度 実績	2021 年度試行運用期間 (2021 年 11 月～2022 年 1 月)		目標達成率	目標達成状況
			2020 年 7 月 ～ 2021 年 6 月	目標	実績		
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	25,847	6,397	6,387	100%	○
(1) 電気使用量の削減	事務所	kWh	14,858	3,677	3,460	106%	○
(2) ガソリン使用量の削減	事務所	L	6,470	1,601	1,731	92%	△
(3) 軽油使用量の削減	現場	L	1,436	355	275	129%	◎
2. 廃棄物排出量の削減							
(1) 紙の削減 (コピー紙)	事務所	枚	27,044	6,693	6,722	99%	△
(2) 建設発生木材の削減	現場	kg	109	27	25	108%	○
3. 水使用量の削減	事務所	m ³	167	41	41	100%	○
4. 地域社会貢献活動 (近隣清掃の実施)	事務所	回	0	3	3	100%	○

備考)・目標達成状況評価区分

◎ : 目標達成率 ≥ 120% ○ : 100% ≤ 達成率 < 120% △ : 80% ≤ 達成率 < 100% × : 達成率 < 80% - : 判定不可

9. 環境経営計画の実施・取組結果とその評価

- ・2021年度試行運用期間中の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、設定したほとんどの項目で取組が実施でき、概ね良好な結果となっています。
- ・今後もこの取組を継続・発展させ、環境経営目標の全項目達成を目指していきます。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1) 電気使用量の1%削減	全社	○	不使用時のパソコン等の電源をOFFにする	◎	・取組は概ね実施出来たが、今後は空調温度管理を全社員で取り組む。
			昼休み等不必要な箇所の消灯を徹底する	◎	
			無人スペースの消灯	○	
			室温管理に努める	△	
(2) 自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の1%削減	全社	△ (ガソリン) ◎ (軽油)	急加速・急停車の防止	△	・取組は実施出来ているが、今後は営業車（ガソリン車）のエコドライブに全社員で取り組む。
			アイドリングストップ	○	
			効率的なルートでの移動	◎	
			定期車輛整備実施による燃費の向上	◎	
			新車(トラック)の購入予定	近々納車予定	

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1) 紙の5%削減（コピー紙）	事務所	○	両面コピーと縮小コピーに努める	○	・取組は概ね実施出来たが、目標達成のためにペーパーレス化に全社員で取り組む。
			DX化を目指し、ペーパーレス化に努める	○	
			PCFAXの活用に努める	○	
			ミスプリント防止に努める	○	
(2) 建設発生木材の1%削減	現場	○	木材在庫の管理	◎	・今後もこの取組を継続する。
			発生木材の再利用に努める	◎	

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1) 水使用量の1%削減	事務所	○	手洗い時に水を出し放しにしない	○	・今後は取組を徹底し目標達成を目指す。
			節水促進掲示物の設置	◎	

4. 地域社会貢献活動の推進

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的な取組（活動項目）	取組実施状況	評価
(1) 地域社会貢献活動の推進（近隣清掃月1回実施）	事務所	○	会社周辺清掃を月に1回行う	◎	・今後は計画的に取り組む。

10. 今後（2021年度残期間）の計画

(1) 環境経営目標

・今回の試行運用の結果をみると、主要な環境負荷である二酸化炭素排出量は今後の取組で目標を達成し、目標未達となった2目標も目標達成率が90%以上あって、十分に目標達成レベルにあることから、中長期目標で定めた2021年度残余期間（2022年2月～2022年6月）の目標値をそのまま適用します。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2020年度 実績	目標			
				2021年度（1%削減）		2022年度 （2%削減）	2023年度 （3%削減）
				試行運用期間	残余期間		
2020年7月 ～ 2021年6月	2021年11月 ～ 2022年1月	2022年2月 ～ 2022年6月	2022年7月 ～ 2023年6月	2023年7月 ～ 2024年6月			
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	25,847	6,397	10,661	25,330	25,072
(1) 電気使用量の削減	全社	kWh	14,858	3,677	6,129	14,561	14,412
(2) ガソリン使用量の削減	事務所	L	6,470	1,601	2,669	6,341	6,276
(3) 軽油使用量の削減	現場	L	1,436	355	592	1,407	1,393
2. 廃棄物排出量の削減							
(1) 紙の削減 (コピー紙)	事務所	枚	27,044	(5%削減) 6,693	(10%削減) 11,156	(15%削減) 24,340	15%削減 22,987
(2) 建設発生木材の削減	現場	kg	109	27	45	107	106
3. 水使用量の削減	事務所	m ³	167	41	69	164	162
4. 地域社会貢献活動 (近隣清掃の実施)	事務所	回	0	3	5	12	12

(2) 環境経営計画

・2021年度残期間の環境経営計画は、今回の運用期間が3カ月と短いこともあったので、現計画をそのまま継続使用することとします。今回結果から一部取組が不十分な項目もあったので、特にガソリン車のエコドライブ、紙のペーパーレス化、地域貢献活動の取組を周知徹底し、目標達成に向けて取り組みます。

11.環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果 並びに違反、訴訟の有無

- ・当社の事業活動、製品・サービスに適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・2021 年度試行運用期間中の事業活動に対して、2021 年 2 月に環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去 3 年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）	遵守結果
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理 マニフェスト交付状況の定期報告	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易定期点検の実施	○
家電リサイクル法	特定製品廃棄の際の適正な引渡、処理料金の支払い	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務	-

備考) 評価区分 ○：遵守 ×：不遵守 -：該当なし

12. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 取組状況の全体評価

取組項目	評価
1. 環境経営目標とその達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度（3月決算）は前年度より約30%の売上が上がった状況を考慮すれば、全体的に数値目標はわずかに届かなかった項目はあったが、環境経営目標達成に向けて意識の向上を含め、前進していると評価する。
2. 環境経営計画の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・特に紙印刷枚数については、公共事業案件にて提出必要書類が現状では紙のみでしか認められていないため、数値が増加してしまった点は致し方ないと思われる。 ・ただし、取組計画内の項目は達成できている部分が多いため引き続き実施していく。
3. 環境関連法規の見直し・遵守状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本社内の廃棄物排出量については、社員共に認識の共有は行われており、分別処理に努めていると評価する。 ・しかし、一部の現場では缶の中にたばこの吸い殻を入れていたこともあり、まだまだ完全とはいえず改善余地があるため、取組の周知徹底を引き続き行っていく。
4. 内部・外部からの苦情・賞賛等の受付結果	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル木材については、電話での問い合わせにてDIY等で使用する目的で一般の方が木の廃材を取りに来られることがあり、引き続き実施していく。

(2) 見直しの結果

- ・今回は3カ月間と短い試行運用の結果であり、計画の見直しの必要性を判断するには、今後の実績データの蓄積が重要と考えます。
- ・したがって、今回は現在の計画を継続運用し、見直しは行わないと判断しました。

